

令和5年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	0人	0人	11人

前回の改善計画	初回利用時から、交流の機会を増やし、知り得た情報やケアの内容について、職員間で共有しながら、利用者・家族さんに安心してサービスが利用できる様に支援していく。記録物の簡素化や一日の流れの見直し、個々のサービス内容等も調整する事で、業務の効率化を図り、利用者さんと関わる時間を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規のご利用開始にあたって、ご利用者さんから支援に必要な基本情報は事前情報シートにまとめて職員に周知するとともに写真入り地図で送迎場所、注意点などの環境情報も分かりやすく共有しています。利用者さん、職員ともに安心してケアがすすめられるように都度、改善しています。記録物についての革新的な効率化はありませんが、利用者さんと関わる時間を増やしより柔軟な対応が出来るように努めています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8	0	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	4	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	9	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 事前情報シートに支援に必要な情報要約しているほか、地図に写真入りで環境情報、生活情報(飲み物の好みや家での過ごし方など)をまとめて見える化し、サービス導入にあたって利用者さんも職員も安心してケアが出来る体制を整えている。 温かい笑顔でコミュニケーションをとることができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>声かけ、気遣いの部分で利用者さんひとり一人の特性によって関わりを工夫していく必要がある。(言葉での表現が出来づらくなっている方に対するかかわりに戸惑うことがある)</p> <p>職員全体での家族、介護者への支援体制(介護職員がどこまでかかわってよいかわからない)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>初期支援(サービス導入)にあたっては、初めての介護サービス利用やデイサービス等からの変更等、今までの生活が変化することに不安を感じている場合も多い。ご本人・緩和できるように、管理者、計画作成担当者だけでなく介護スタッフも日頃の送迎場面等の短時間でご家族・ご利用者の小さな変化に気づきを持って、心身の変化や心の揺れに対応できるように本人、家族支援の研修を実施する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	10人	0人	0人	110人

前回の改善計画	
利用者さん個々に係る事が出来る時間を確保する為、「1, 初期支援」と同様に、業務の効率化や、スタッフ一人一人の感性を生かして、担当利用者さんの「輝きシート」など、生活している中での強みや弱み、家族との関わりや、自宅での役割や習慣等も情報として職員間で共有しながら、統一したケアが出来る様にする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
まず基本的なケア (食事・排泄・入浴等) をきちんと実施して、心身ともにリラックスした状態をつくれるようにしている。その上でスタッフで日々協議して、強みの部分を活かすサポート (洗濯物たたみや計算問題を行うなどで「自信」を持つ)、弱み部分へのケア (転倒リスク緩和の環境整備や自宅での注意点、工夫を家族に伝えるなど) を考え実践するようにしている。「輝きシート」からは出身地や職歴、人生の転機などの出来事から拝察し、より信頼や関わりを深められるように努めている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	6	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	5	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	4	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご利用者さんの思いをもとに「住み慣れた自宅で出来る限り暮らしたい」「トイレでの排泄が出来るようになりたい」「転倒せず (転ばず) 過ごしたい」など、分かりやすい言葉で目標を共有している。ミーティング等でその目標に対する評価や達成に向けての努力や工夫を考えられるようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	その人の強みの部分を活かすケアで「出来ること」を見つけてアプローチすることはできているが、認知症や身体機能の低下で活動やレクリエーション等に参加しづらい人に対して「能力を引き出して何か出来るようにするためのサポート」を行うこと。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ご利用者ひとり一人の強みの部分の着目して、役割づくり (洗濯物たたみや体操のかけ声を発するなど) を実践する。 認知症や身体機能の低下で活動やレクリエーション等に参加しづらい人に対して「能力を引き出して何か出来るようにするためのサポート」を考えて実践する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	無回答 1人
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	0人	9人	

前回の改善計画	利用者さんもその日、その時で気持ちの変化や心身の変化があり、その状況に合わせたサービス・ケア内容の調整が必要になってくる。随時、生活の背景を考慮しながら、本人や家族に日常生活に対する希望や要望を確認しながら、その人が望む生活が継続できる様支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者さんの気持ち心身の変化に対応してサービス・ケア内容を随時調整するようにしている。ただし介護家族に疲れがありレスパイトが必要なケースでは泊りが随時利用できるように調整するなど、支援者も含めて日常生活支援が出来るようにしている。また気持ち、心身の変化の背景や原因等をスタッフで考えてくつろいで利用できるように工夫している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	8	0	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	9	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	3	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	8	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 住み慣れた自宅で生活を継続するために。暮らしシート等で生活歴や職歴、生活習慣等を共有している。食事、入浴、排泄等は自宅での生活の連続性を考えて出来るだけ自立の支援を行っている。ミーティングでは利用者さんひとり一人に担当者を設けて、ケアの振り返りや課題について考え、協議をしている。体調管理については看護職員、かかりつけ医に報告相談して対応をしている。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「私の暮らしシート」(生活歴)が埋められていないご利用者がいる。(ご本人、ご家族への十分な聴き取りが出来ていない、またご本人への聴き取りが出来ない場合がある)
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご家族、介護者等との面談等お話しする機会を活用して随時聞き取りして、「私の暮らしシート」(生活歴)を追記整備する。情報をもとにご利用者ひとり一人の「その人らしい暮らし」を考察してケア実践に活かすことが出来る。
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	2人	1人	11人

前回の改善計画	今後、感染対策を行いながらのイベントや行事が開催されるにあたり、より感染対策を徹底しながら参加し、地域で暮らす事の意義や大切さを実感して頂けるよう、対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の影響もあり地域行事やイベント自体が縮小している現状があるが、コロナの5類移行を機に、感染予防、対策をしてドライブやお大師さんや権伝馬など地域参加を徐々に再開出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	3	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	2	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	7	3	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	8	1	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
感染症への予防対策を実施しながら、徐々にドライブなどの外出やお大師さん、権伝馬などの地域行事に参加できている。これらは利用者さんひとり一人が今まで地域で担ってきた役割やつながりを感じられる大切なイベントであると捉えて安心して参加出来るように体制を整えて実施している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご本人を取り巻く近所、知人、地域のお店などインフォーマルな地域資源の関係性把握、活用に向けた取り組みが出来ていない。(コロナ禍の影響もあり、積極的な地域とのかかわりを行っていない)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
住み慣れた自宅で自分らしい生活が続けられるように、モニタリングや担当者会議の場を活用して個々のご利用者の地域資源の調査、情報収集を継続する。職員ミーティング等にて活用に向けた検討を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	2人	0人	11人

前回の改善計画	小規模多機能型居宅介護の多機能性を最大限に発揮し、利用者さん・家族さんが望む在宅生活を支えながら、本人が望む生活が継続出来る様に支援する。その為にも利用者さん本人を理解し、より良い関係作りを行いながら、利用に対する感想や気持ち等も確認しながら、柔軟なサービス提供が行えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	住み馴れた自宅での生活が継続できるように、本人の気持ちや思いを確認しながら、在宅生活を支える家族、配食サービス、サロン、友人なども担当者会議などで協働して多機能性のある柔軟なサービス提供に努めています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4	4	0	10	無回答 1人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	5	2	0	10	1人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	8	0	0	11	
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	0	0	11	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>認知症等で自身での訴えや表現できづらくなってきているご利用者に対して在宅生活の支援をするために、健康観察や自宅での生活環境の様子確認を行い、介護職員、ケアマネジャー、家族、地域資源（配食サービスやサロンの運営メンバーなど）全体で情報共有してサービスを調整している。 （医療機関への受診支援、地域のサロンへの送迎・連携の支援、健康・状態観察のための泊りへの変更、随時訪問での自宅での様子確認など）</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自宅での自分らしい生活を支えるための地域資源の活用に向けた積極的な取り組み（コロナ禍の影響もありかかわりを自粛している部分もある）</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>自宅での自分らしい生活を支えるため、ミーティング時のケースカンファレンスを利用してご本人の「生活の困難さ」だけでなく、「強み（〇〇が出来る）」部分を生かせる支援内容を具体的に提案、実践できる。 （自分で出来るように環境整備 例 安全にお湯が沸かせるよう電気ポットを用意するなど）</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

6. 連携・協働

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	無回答 1人
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	5人	2人	10人	

前回の改善計画
 コロナ禍で、なかなか見学や来訪に関して制限をさせて頂いているが、今後、感染対策や、検査等の証明を確認しながら、今までの様に、出来るだけ事業所と地域の方々、家族や他事業所も含め、交流する機会を持ち、様々な視点からの意見を参考に、より良いサービスが提供できる様にする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 引き続きご家族、申込者以外の来訪は制限させて頂いている。近所へ散歩に出かけた際にあいさつを交わすなど出来る部分で、なじみの関係を絶たないように取り組んでいる。また運営推進会議の場を活用して地域包括支援センターや保健師さんからの意見をもとに介護疲れで困っているケースの相談援助などの取り組みを実践した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	無回答 1人
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	1	6	1	10	
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	7	1	10	
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	5	3	10	
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	3	6	10	

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご利用者のかかりつけ医療機関との連携（健康状態の報告、緊急時対応など）の支援、本人の健康状態変化に応じて訪問看護、訪問リハビリ、福祉用具貸与事業所との協議をして力が発揮できる生活環境を整える支援
 地域包括支援センターや保健師さんからの意見をもとに在宅介護の困難さがあるケースの相談援助、利用につなげるなどの支援

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 インフォーマルな地域資源（自治会、町内会、婦人会、消防団等）との活動参加、連携。
 （コロナ禍のため自粛している部分がある）

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 地域サロン、認知症カフェなどの地域の会合に積極的に参加して信頼関係構築や情報収集が出来るようになる
 感染症対策をきちんと実施した上で、今年度よりも地域に出かける機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

7. 運営

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	無回答
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	2人	2人	10人	

前回の改善計画

毎年行っている利用者・家族のアンケート調査、地域合同消火避難訓練の実施やイベントへの参加、運営推進会議での意見や外部評価結果を参考に、指摘を受けた内容については迅速に対処し、より安定した事業運営が継続できる様にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

アンケートは実施出来ている。避難訓練は事業所のみでの実施となり運営推進会議で報告、津波災害時の避難等について地域の人と交えて協議した。コロナ禍の影響がありイベント参加は積極的には出来ていないが、お大師さん、地方祭見学などの地域行事は地域の方の協力を得て実施が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	無回答
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	5	3	1	10	
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	0	1	9	2人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	4	1	9	2人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	5	1	9	2人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

月1回の職員全体ミーティングを実施してご利用者さんへのより良いケア提供をもとに事業運営への気づきや提言を言える機会を設けている。
ご利用者ご家族等からの意見は申し送りノート等にて共有し改善を図っている。
運営推進会議の他、認知症カフェに参加して地域の方からの意見を聴く機会としている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

運営推進会議を実施しているが、地域連携に向けた協議は積極的に行っていない。
(コロナ禍の影響もある)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

運営推進会議を活用して地域の方の意見や要望を聴き、感染症の動向をみながら、地域の方にも喜んでいただける活動、イベント(避難訓練や交流行事等)を企画して、出来そうな部分から再開をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	1人	1人	11人

前回の改善計画	徐々にはあるが、オンライン研修で対応したり、感染対策を徹底しての開催が増え、以前の様にスキルアップ研修にはスタッフ全員が、希望する研修に参加し、知識・技術ともに 習得し、サービスの質が向上できる様にする
前回の改善計画に対する取組み結果	年間計画をもとに内部研修、外部研修実施している。ZOOM を活用した研修への参加、書面での周知、自己学習などで出来限り実践をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	無回答
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	0	3	6	2	11	
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	5	2	10	1人
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	7	1	10	1人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	8	2	0	10	1人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員のスキルアップ、興味関心のある研修への参加の支援。(研修年間計画、外部研修の情報提供、希望する研修への参加、資格取得支援) 研修参加のための休日調整、研修費、研修参加経費、旅費の支給などして参加を奨励している。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員全員が研修参加出来ていない (時間的な理由等でどうしても参加できない方もいる)
---------	----------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 引き続き、研修年間計画に基づいて研修実施を行う。参加できない職員に対して資料配布や公的な研修動画視聴、介護実践を通じてのOJT (オンザジョブトレーニング; 実地訓練) を行い限られた時間で学べる工夫をする。
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 6月 18日 (9:00~10:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松浦、池田、神原、越智、相原、大内、藤原、矢野、国貞、田中、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	無回答
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	2人	2人	10人	

前回の改善計画	コロナ禍でも、徐々に権利擁護等研修開催が増えてきている。必要な内部・外部研修へ参加し、研修内容をミーティング等でみんなに伝達し、定期的に制度について確認出来る様にする。また内容が分からなくても、相談窓口や相談先が伝える事が出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	公的機関が行う、虐待防止研修 (6月)、本人らしい生活のための意思決定支援・成年後見制度研修 (10月)、施設虐待の検証研修 (11月)に参加 (いずれも ZOOM 開催) し、スタッフミーティングにて伝達研修、資料の共有を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	無回答
①	身体拘束をしていない	8	3	0	0	11	
②	虐待は行われていない	8	3	0	0	11	
③	プライバシーが守られている	8	3	0	0	10	
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	3	8	3人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	3	0	0	10	1人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>高齢者虐待防止 (身体拘束の防止を含む) の研修、意思決定支援と権利擁護 (成年後見制度) 研修に参加し関係法令の理解と高齢者の尊厳を尊重した基本的なケア視点を持つことを共有している。</p> <p>スタッフミーティングでは「入浴、排せつ介助などの場面でプライバシー、尊厳が護れるように環境、声かけ等の配慮を行うこと」「身寄りがない方への成年後見制度の適切な利用」などの具体的実践について話合った。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>日常のケア場面での不適切ケア (声かけなど) への気づきの共有</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>成年後見制度、日常生活自立支援事業など権利擁護、自立支援のため制度理解を深める (研修実施)</p> <p>高齢者虐待、身体拘束防止の研修、事例演習を行い身体拘束や虐待には黒 (虐待)・白 (非虐) の判定だけでなくひいては虐待につながる不適切な声かけ、対応などのグレーゾーンが存在することを共有し、意識して日頃のケア場面の振り返りを実践する。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	会長 長野 和幸	法人・ 事業所 の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので木のぬくもりに溢れている。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり福祉の拠点となっている。 多くの職員が開設当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて持っている力を発揮して頂けるよう支援している。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	松浦 昭雄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	5人	0人	0人	1人	4人	1人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・今後、自己評価表で出来ていないと判断した箇所を話し合い、計画的に見直ししながら、職員個々でも自己評価の見直しができる様に、随時取り入れて行きたい。次回、外部評価までに自己評価の総合点が少しでもアップする様、取り組んでいこうと思います。	・コロナ禍で自粛されていた外出や地域行事への参加を5月の新型コロナウイルス5類移行から徐々に再開することが出来て改善された部分があったと思います。実際の利用者への支援のケースでは自己評価の9つの視点を意識しながら、出来る限り住み慣れた自宅で自分らしく生活できることを目指して、事業所都合での効率化に陥っていないかをチェックしながら個々の支援を考えるようにしています。	・9つのテーマに関する自己評価と地域関わりシートの設問が関連していないものもあり、意見・評価することが難しい。 ・高齢化等で自分の思いが表現しづらくなっている方へも職員が温かい笑顔で寄り添うという取り組みが感じられた。	・外部評価にあたってまず初めに地域かかわりシート記入の視点、地域包括ケアシステム拠点としての説明の時間をとり質疑応答も交えて評価や課題抽出の焦点化が出来るように改善します。 ・事業所見学とスライド等での取り組み紹介を組み合わせを行い9つのテーマに関する自己評価と地域関わりシートの設問の関連も説明して意見・評価をしやすいものにします。
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続きコロナ禍でも安心して施設内の見学(オンライン)や、分かりにくい所は丁寧に説明しながら、誰にでも開けた事業所として、出入りして頂けるように心がけたいと思います。	・事業所への面会、訪問に関しては一定の制限があり気軽に訪れられる環境にはなっていませんが必要性の高いご家族や新規利用希望者の方の面会、訪問から感染対策をすたうえで緩和しています。 ・今回外部評価から短時間の事業所見学も実施できました。実際の居住環境やケアの	・施設見学をして、古民家を改築した施設内は明るく清潔で気持ち良いです。快適さが保てるよう継続してください。	・感染症対策の入室制限は緩急あるもののしばらく継続していくものと思われます。まずご家族等から出来るだけ気軽に面会して頂けるように改善し、感染症対策の管理(環境整備も含めた)を適正に行っていきます。

		実践をみて、その場で質疑応答することで、書面や映像のみでは伝わりにくい実際の雰囲気を感じてもらおうことが出来たと思います。		
C. 事業所と地域のかかわり	・地域合同避難訓練や夏祭り、ふれあいフェスタ等の交流事業が減り、地域の方々に事業所とふれあって頂く機会が減っています。規制緩和に伴い、少しずつ地域へ発信できる方法(ネットやお便り等)を考え、実施していきたいと思えます	・新型コロナ対策のため家族の方以外の入室制限は続いています。5月以降感染症対策を実施したうえで、お大師さん、権伝馬などの地域行事参加を徐々に再開し地域交流を行いました。また地域サロンとの連携や認知症カフェに参加する事で小規模多機能の認知を広めるように関わっています。	・(コロナ禍で)地域とのかかわりは、難しいと思うが、防災訓練などを通して、事業所の存在を地域の方々に知ってもらうことは重要と思う。	・ご利用者、ご家族が安心して利用できることに留意して、地域の方にも喜んでいただけるイベントの企画(地域防災訓練を一緒に行うなど)をしています。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・コロナ禍でなかなか行事も中止となり、地域へ出て行く機会が減ってしまいました。徐々に緩和傾向にあり、感染予防は十分行いながら、今までの地域との関係性が続けられるようにしたいと思います。	・5月お大師さん参拝、8月権伝馬見学と徐々に地域行事参加を再開出来ています。地域に出向くことでお接待や祭り見学場所の確保など自然と地域の方の協力や交流が生まれました。大規模な行事参加はまだ難しいが、近所への散歩で地域の方とあいさつを交わすなど積極的に地域に出て、なじみの関係を絶たないよう取り組んでいます。	・宗方の地域サロン「たんぼぼ会」が今年度から月1回再開されており、ゆいの村と連携して参加を支援してくれています。	・お大師さんや地方祭など利用者さんひとり一人が今まで地域で担ってきた役割やつながりを感じられる大切な伝統行事であると捉えて、感染症の予防対策を実施したうえで、安心して参加できるように支援していきます。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・毎回、住んでいる地域の課題や困難事例、逆に成功事例なども踏まえて、確認出来る時間が確保出来ればと思います。	・運営推進会議の場で地域包括支援センターの方や保健師さんからの意見をもとに、利用申込者の状況調査を実施し介護疲れなどで困っているケースを利用につなげるなどの取り組みを実践しました。	・運営推進会議では報告のみなど一方通行になっているように感じる。委員として何か役に立ちたい。防災訓練実施など呼びかけて欲しい。	・運営推進会議では議案をもとに適正に進めるとともに、委員の方から模範・参考となる知見、情報等を収集して、意見交換を積極的に行うように改善します。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・ここ3年間、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、地域合同の避難訓練が実施する事が出来ていません。徐々に感染予防の対応も緩和されつつあり、来年度は、感染予防を徹底しながら、合同での避難訓練が実施できればと思っています。</p>	<p>・地域住民の方との合同消火避難訓練は、新型コロナウイルス感染状況の影響で実施できませんでした。2回/年の消火避難訓練及び地震発生、津波による避難訓練(図面訓練)を実施しました。津波災害時の避難場所について運営推進会議の場で議題となり、避難場所の確保は出来ていますが継続して必要な情報を収集しています。</p>	<p>・防災・災害訓練を毎年何らかの形で実施されていることは敬服します。訓練参加は無理でも訓練実施計画に参画するなどに関わりたいです。</p>	<p>・年2回の防災訓練を実施し、内1回を地域の住民の方と一緒に消火避難訓練を行うようにします。感染状況により地域住民の方の参加困難な場合、後日、図面上での訓練で災害時の対応、避難の動き等を模擬実践し協力体制を確認します。地震による津波災害時の対応についても、地域の方と協議をして事業所に必要な情報を収集して改良をしていきます。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------